磯子区地域福祉保健計画情報誌

第4号

2005年8月30日発行



いそごのちから



磯子区では、誰もが健康で幸せな生活を送ることができるようにするため、平成16年度・17年度で地域福祉保健計画を策定します。この計画策定は、身近な地域の生活課題を解決するためのしくみづくりを、市民・事業者・ 行政が協働で取り組むものです。

第4回磯子区地域福祉保健計画策定委員会が開催されました!

8月3日(水)に第4回磯子区地域福祉保健計画策定委員会が開催され、計画骨子についての活発な意見交換が 行われました。特に議論された内容をご紹介します。

【テーマ】計画理念の案の1つとして挙がっている「一人一人がその人らしく暮らせるまち」という表現について・・・これは本当に「福祉」を指しているだろうか。引きこもりや独居、ニートなどの問題が「それぞれの地域で、
そのひとらしく」てよいという考え方では福祉が進まないのではないか。

障害者の「社会復帰」を例にすると、本人側の意見として、なぜそんな努力をしなくてはいけないのか、ふつうの人と同じように生きなくてもいい、という意見がある。努力することも本人が選べるということ、自己決定ができるということが「福祉」なのでは。

引きこもりから抜け出した人が、「自分にとって引きこもりの時期が必要であった」と言っている。「引きこもり」 の状況を変えるというのではなく、地域でそういうことがあるということを認めることが「福祉」なのでは。

一部の人たちが持っているのではなく皆が持っている「弱さ」。他人事であれば「してあげる」になるが、まず自分のこととして、一人ひとりを大事にするところから出発する。一人ひとりちがっていてもいい。一人ひとりから出発して、一人では生きられない、そのためにコミュニケーションや「お互い」が助け合うことにつながる。さらに、制度(行政)がバックアップし、協働のしくみにつながっていくとよいのではないでしょうか。

そして何よりも具体的な提案を計画に盛り込むことが大切であり、取り組みは誰がやるのか、計画の管理をどこでするのか5W1Hをきちんと決める必要がある!との意見が出されました。



第3回・第4回分科会が開催されました!

策定委員会では、 つながりネットワーク(情報) 活動の 場づくり・居場所 人材発掘・育成の3つのグループに分かれ て分科会を開催し、計4回議論を積み重ねてきました。それぞ れのグループの視点で、地区別検討会やグループインタビュ ーからでた意見を、以下の7項目に分類して話し合われまし た。

(1)子育で・青少年育成(2)障害児者の自立と理解・ バリアフリー(3)高齢者の生きがい・介護(4)防犯・ 防災(5)健康づくり(6)道路・交通(7)生活環境・ マナー

6・7月のその他活動経過報告

区民会議代表者と策定委員長、副委員長との 意見交換(7月13日)

地域ケアプラザ、区社協職員(7月 19 日)・区職員(7月 22 日)へのインタビュー

生活支援センター開設準備学習会(精神障害者関係)メンバーへのインタビュー(7月27日) 子育て支援連絡会参加者へのインタビュー(7 月29日)

各地区の重点テーマについてみんなで取り組みませんか!



昨年度各地区で行われた地区別検討会で出された課題や提案をもとに、今年の地区別検討会では地区で重点的に 取り組みテーマを決め、テーマごとに地区の計画を具体化していきます。

【根岸】

- 1 地域での子育てを考えよう
- 2 いつまでも健康でいきいき暮らそう
- 3 地域交流をすすめ、誰もがつながり助け合うまちをつくろう
- 4 マナーを守ってきれいで気持ちのいいまちをつくろう

【油頭】

- 1 子ども・高齢者・障害者の交流・居場所づくりをすすめよう
- 2 あいさつのあるまちをつくろう
- 3 健康づくりをすすめよう
- 4 ケアプラザをもっと活用しよう
- 5 道路・交通の安全を守る(自転車のマナー教室から)

【岡村】

- 1 地域の高齢者を支えよう(健康維持、情報・相談支援)
- 2 子どもが地域と密着して成長できるよう親世代を含めてとり (もう)
- 3 活動の場(空きスペース)·交通アクセス(バス経路·移送サービス)について考えよう
 - *担い手の育成・確保について会わせて考える

【磯子】

- 1 地域の人の得意分野を活かそう
- 2 地域の連携で安心・安全に暮らせるまちにしよう
- 3 子どもから高齢者まで健康づくりをすすめよう
- 4 子ども・青少年が地域でいきいきと過ごせるようにしよう

【汐見台】

- 1 子ども・青少年の居場所づくり・交流をすすめよう
- 2 世代間で交流し、高齢者の閉じこもりを予防しよう(健康づくり含む)
- 3 地域にいる人材を掘り起こそう
- 4 地域の活動をPRしよう
- 5 地域住民が自由に集まることができる場所をつくり、交流を すすめよう(障害者の活動拠点づくりも含む)

【屏風ヶ浦】

- 1 お互いの活動サポート、世代を越えた交流の場をつくろう
- 2 地域と障害者の交流を深め、心のバリフリーをすすめよう
- 3 地域の人々の孤立を防ごう

【杉田】

- 1 青少年の育成(あいさつ・居場所・防犯)をすすめよう
- 2 防犯と防災(地域での連携・交流をもとに)に取り組もう
- 3 地域のコミュニケーションでマナー問題(ごみ·ペットの問題) を解決しよう
- 4 高齢者の生きがい・健康づくりをすすめよう

【上笹下連合】

- 1 青少年の健全なたまり場をつくろう
- 2 高齢者をささえあうしくみをつくろう
- 3 顔見知りの関係をつくろう
- 4 近隣との交流で防犯をすすめよう
- 5 災害時に備え役立つ防災訓練を行おう

【洋光台】

- 1 防犯・防災に取り組もう・コミュニケーションの力を使おう
- 2 高齢者・障害者を理解して地域への参加をすすめよう
- 3 日常生活を見守るネットワークづくりをすすめよう
- 4 情報伝達と支援のしくみをつくろう・あいさつからはじめよう

【上笹下】

- 1 地域ぐるみで青少年育成(子育て環境向上・防犯)に取り組もう
- 2 災害時の情報連絡体制を整備(高齢者・障害者)しよう

区の計画や地区の取り組みに関してのお問合せや、ご意見をお待ちしてます。

< 磯子区地域福祉保健計画策定事務局 >

磯子区役所・磯子区社会福祉協議会・区内各地域ケアプラザ・中原苑 問い合わせ先: 磯子区福祉保健課事業企画係 電話 750-2442 ファクス 750-2547

EX-N is-fukuhokeikaku@city.yokohama.jp

磯子区役所のホームページもご覧ください。

